
カード

NEO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カード

【Nコード】

N2944Y

【作者名】

NEO

【あらすじ】

近未来のお話かな？

(前書き)

初投稿です

ここはそう遠くない近未来　なんでもカード化されてなんとも味気ない世界さ

リニアに乗るのもカード、会社の入口入るのもカード、サラリーの支払いもカード、何でもかんでもカードで認識されている。

個人一人ひとりに番号が割り振られカードが与えられGPS内蔵で、すべての行動の履歴を見ることができ、病気・買い物・何月何日の何時に何処にいたか？そこに行くのにどういうルートを通ったか？そこで誰に会い何を食べたか？すべて履歴に残るんだ。

カードにはDNA情報まで記録されていて、俺が怪我をしたらその情報からスペアの臓器を作ったりできる。

まさにカード様様の時代なのさ

この狂った便利な時代、行方不明者っていうのはカードで認識できない人のことを言うのだ、まあその方が気楽だって社会から出て行って街の外の旧世界で生活している人間も居るがね。

俺もこの社会は嫌いじゃないがいかんせん息が詰まる　ここに居る限り安全は保証されているのだが。

すべての行動情報がカードに集まっている　時々俺がカードを使っているのか　カードの為に生きているのかわからなくなるほどだ。

このカードは俺が死んだ後も機能するらしい　なんに使われるのかは知りもしないが　死んだあとのことだし　気にもしていない。

この便利なカードだが名前があるんだ　たしかなんていったけなそうそう「IHAI」って言うんだ。

なんでも聞いた話だと旧世界のどっかの島国にこんな個人情報管理カードがあったらしい。

(後書き)

すいません 中学生くらいころのです このころ星新一さんが好きで似たような話考えてました その内の一つです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2944y/>

カード

2011年11月12日07時56分発行